

Library

町生涯学習センター図書室からの6月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447 (内線331)
✉klg110@town.kosai.lg.jp

実話に基づく奇跡と感動の物語

松岡 圭祐著 / 『ジェームス・ボンドは来ない』



角川書店

小説

瀬戸内海の直島が登場する、007を主人公とした小説が刊行された。「島が舞台になるかもしれない」。手作りでスタートした映画の誘致活動は、やがて8万人以上の署名が集まるほど盛り上がる。実話に基づく涙と笑いの物語。結果は本の題名通りで、夢破れましたが、その先にはさわやかな感動がありました。元気をもらえる1冊です。

小さいのちに注がれるあたたかい愛

新美 南吉作 / 『うまやのそばのなたね』



新橋社

児童書

菜の花のつぼみたちの会話、母さん馬のやさしい声と瞳、小鳥とチョウと馬のあかちゃん。そんな春の里にあふれる小さいのちのかがやき。著者・新美南吉が、故郷の菜の花畑に思いをはせながら、生まれてくる小さいのちに慈愛に満ちたまなざしをそそいだ、おだやかで心があたたかくなる1冊。大人にもぜひ読んでほしい作品です。

『赤毛のアン』にかける情熱と信念

村岡 恵理著 / 『アンのかご 村岡花子の生涯』



マガジンハウス社

一般書

NHKのドラマ「花子とアン」の原作本。戦争へと向かう不穏な時勢に、翻訳家・村岡花子は、カナダ人宣教師から友情の証として1冊の本を贈られる。後年『赤毛のアン』のタイトルで世帯を超えて愛されることになる名作と、花子の運命的な出会い。村岡花子の情熱と信念に満ちた生涯を、孫娘の著者が丁寧に描いた、読み応えのある1冊です。

本気で夢中になれる体験がいっぱい

佐藤 悦子著 / 『子どもに体験させたい20のこと』



筑摩書房

教育・娯楽

「全身で感じる楽しい経験すべてが、創造力を豊かにする。自身が体験した、子どもも大人も本気でドキドキ&ワクワクできる深みのある経験を紹介。マラソンや登山など心も体も目いっぱい使うイベントや、語学やアートプログラムなど、家族で夢中になれるプランがたくさん。これから、子どもと過ごす休日がもっと楽しく変わるかも。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

ソマリアという国の中に、独自に独立を宣言したソマリランドという国家があるのをご存じでしょうか？

ソマリアは内戦・無政府状態が長年続き、国内は武装勢力に埋め尽くされ、まさに「崩壊国家」状態にあります。平和な日本に住んでいる我々にとってはいったいどの星の話かという感じですが、そんな崩壊国家の一角でそこだけ十数年も平和を維持している独立国家があるのです。

今月の案内人



柴田 晃子さん
(糸田区)

ライオンやトラが咆

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

私のおすすめ図書

『謎の独立国家ソマリランド』(高野秀行著)

「崩壊国家」の中で武装解除し、平和に暮らす独立国家「ソマリランド」。今までにない謎多き国家に、著者が独自の目線で飛び込み、レポートする。

哮(ほうこう)する真ん中でウサギが独自の仲良し国家を作っているような、そんなファンタジックで非現実的な国家が本当に存在するのでしょうか？

「辺境愛好家」を自称し「未知」と「謎」が三度の飯より好きな高野氏は、その謎を追ってソマリランドへ旅立ちます。そんな「非現実的」なソマリランドで、人々が我々と同じように日々笑い、泣き、助け合って過

ごしている日常を、おもしろくて分かりやすい文章でレポートしている一冊です。

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか？
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)
✉klg110@town.kosai.lg.jp